

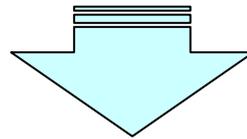
平成21年3月期 決算説明資料

株式会社ディーエムエス



経済環境

国際的金融危機の影響により景気が減退



広告業界

総広告費が5年ぶりに減少（前年比95.3%）

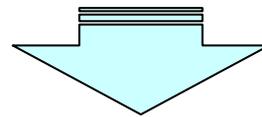
（株式会社電通「2008年日本の広告費」より）

DM業界では…

顧客企業のダイレクトメール・販売促進企画の規模が縮小する傾向。

郵政民営化の影響により、配送手段が多様化しDM需要が活性化。

販売促進に直結するダイレクトメールの特徴の評価。



- マス4媒体などに比べて景気後退の影響が少なく推移。
- 引き続き業務の引合いは活発。

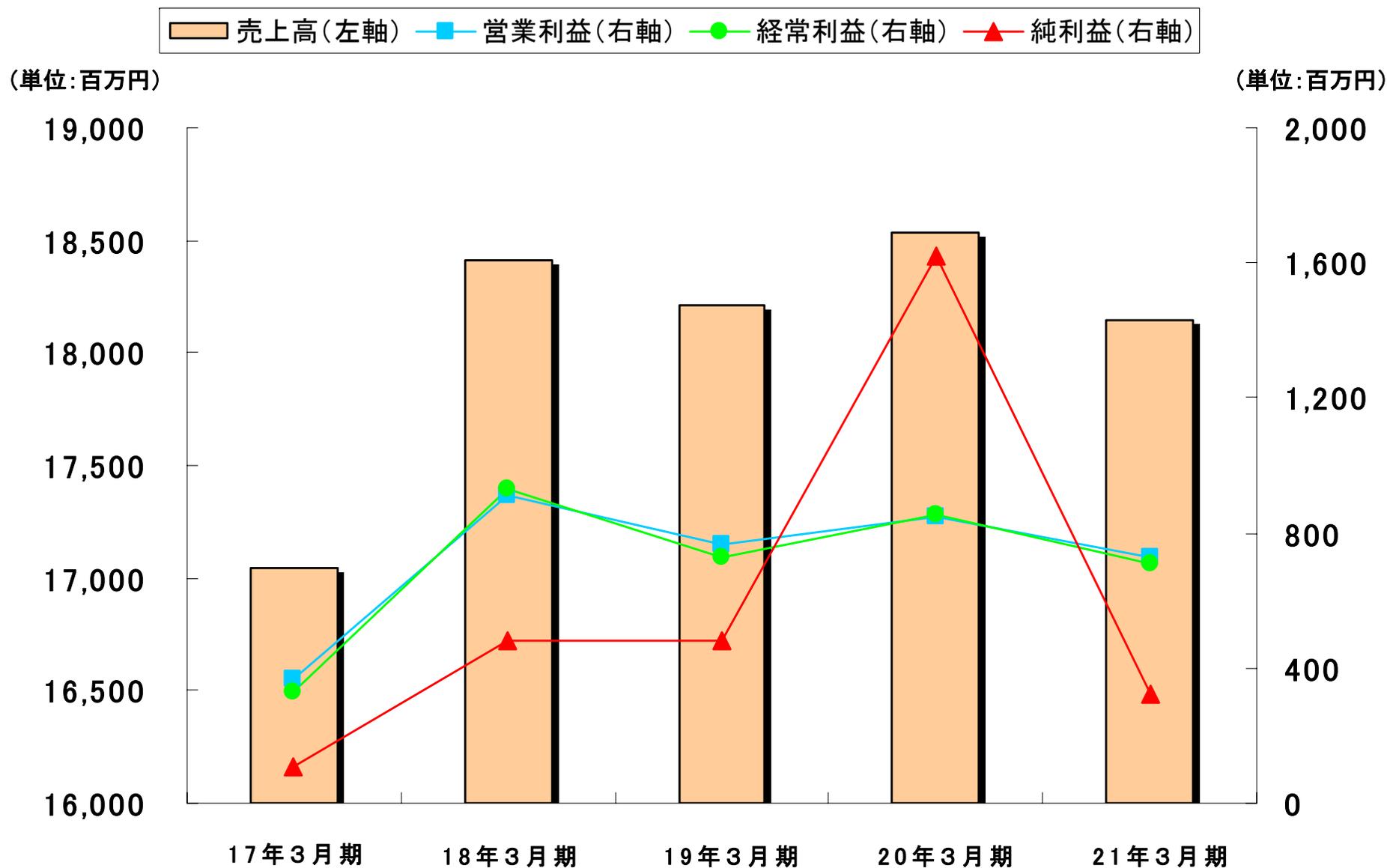
新規顧客開拓

“メーリングサービス”を強みに新規顧客開拓を積極的に展開し、売上を拡大。

メーリングサービス業務の内製化

業務センターを中核とした生産体制の増強と効率化により、宛名データ処理出力やメーリングサービス業務の内製化を推進。

過去5事業年度の主要連結財務指標の推移



平成21年3月期 決算概要(要約連結損益計算書)

(単位：百万円)

	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	前年同期比
売上高	17,044	18,413	18,215	18,532	18,145	▲387
営業利益	369	912	765	851	727	▲123
経常利益	331	930	725	857	706	▲151
当期純利益	105	478	482	1,623	325	▲1,298

◆要 因

売上高：新規顧客開拓を積極的に展開するも、年度後半の急速な景気減速に伴う顧客企業におけるプロモーション予算の縮小・中止などが影響し減収。

営業利益：売上高の減少に加え、第二業務センター開設の初期費用などの影響により減益。

経常利益：上記の要因に加え、昨年度計上した投資有価証券売却益が当年度は発生せず営業外収支が前年同期比27百万円減少したことにより減益。

当期純利益：前期計上した本社土地売却による税効果および上記の各要因による減益。

(単位：百万円)

	21年3月期会計年度			
	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
ダイレクト メール	15,909	173	1,288	▲42
セールス プロモーション	1,581	▲528	101	▲89
イベント	626	▲10	5	▲1

◆要 因

- ダイレクトメール：
 ●トータルサービスを強みとした提案型営業の展開
 ●販売促進に直結するダイレクトメールの特徴が評価
 ●顧客企業における規模縮小の傾向やコストダウン要請対応
- セールスプロモーション：
 ●各種販促支援および企画制作業務の受注に注力
 ●大口顧客からの企画制作業務の受注が減少
- イベント：
 ●イベントの運営業務の受注に注力
 ●顧客企業のコスト抑制

平成21年3月期 決算概要(要約連結貸借対照表)

(単位：百万円)

	20年3月期 会計年度末	21年3月期 会計年度末	前年同期比	主な増減内容
流動資産	7,132	6,796	▲335	●売上債権の減少：▲237 ●未収入金の減少：▲151
固定資産	6,381	6,398	17	●早期適用のリース会計の影響：+174 ●繰延税金資産の減少：▲164
資産合計	13,513	13,195	▲317	
流動負債	3,684	6,245	2,561	●買掛金の減少：▲382 ●短期借入金の繰上げ返済：▲75 ●長期借入金からの振替：+2,974
固定負債	3,350	458	▲2,892	●短期借入金への振替：▲2,974 ●早期適用のリース会計の影響：+69
負債合計	7,035	6,703	▲331	
純資産合計	6,478	6,492	13	●当期純利益の増加：+325 ●剰余金の配当支出：▲143 ●有価証券評価差額金：▲127 ●自己株式の取得：▲40
負債・純資産合計	13,513	13,195	▲317	

平成21年3月期 決算概要(要約連結キャッシュ・フロー)

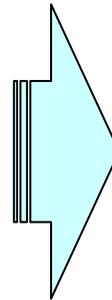
(単位：百万円)

	21年3月期 会計年度	主な増減内容	(参考) 20年3月期 会計年度
営業活動 キャッシュ・フロー	1,399	<ul style="list-style-type: none"> ●税金等調整前当期純利益の計上：+691 ●減価償却費の計上：+558 ●売上債権の回収：+237 	1,094
投資活動 キャッシュ・フロー	▲582	<ul style="list-style-type: none"> ●設備投資：▲607 	▲311
財務活動 キャッシュ・フロー	▲709	<ul style="list-style-type: none"> ●リース債務の返済：▲141 ●長期借入金の返済：▲309 ●短期借入金の返済：▲75 ●配当金の支払い：▲143 ●自己株式の取得：▲40 	▲531
現金及び 現金同等物残高	1,849	<ul style="list-style-type: none"> ●上記の各要因による資金の増加：107 	1,742

＜当社を取り巻く環境＞

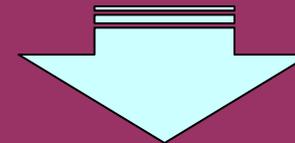
企業収益環境は
引続き厳しい状況

ダイレクトメール
の媒体特性が評価



＜第51期の見通し＞

- ・業務引合いは活発
- ・業者間の競争激化
- ・コストダウン要請



厳しい営業環境の見通し

当社の 施策①：内製生産能力の拡大

多様化するニーズに対応した2拠点体制

DMS第二業務センター開設



第二業務センター
(千葉県市川市)

プランニング &
クリエイティブ

データプロセッシング /
プリンティング

ロジスティクス &
メーリングサービス

フルフィルメント &
デリバリーサービス



業務センター
(埼玉県さいたま市)

トータルサービスで 企業と消費者の
ダイレクト・コミュニケーションを支援

業務センターや昨年11月に開設した第二業務センターのリソースを最大限に活用し、内製生産能力の拡大を推進し、あわせてコスト削減と高品質維持の両立を図ってまいります。

当社の 施策②：周辺業務領域への拡大と進出

各種帳票出力・
情報処理業務

ロジスティクス
(物流サービス)

バックオフィス
(事務処理代行サービス)

各種帳票出力に係わる情報処理業務、ロジスティクス（物流サービス）やバックオフィス（事務処理代行サービス）などの周辺業務領域への拡大を図ることで、顧客企業のニーズに幅広く対応してまいります。

当社の施策③：個人情報保護の継続的な改善

「プライバシーマーク」と「ISMS」のダブル認証。



認証取得部門：管理本部、営業本部、
オペレーション本部

個人情報保護や情報セキュリティに係る取組みを定期的に見直し、継続的な改善を図っていくことで、社会の要請に応え、顧客企業の信頼を確保してまいります。

◆平成22年3月期 通期業績予想(連結／個別)

(単位:百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)
連結	18,300	0.9	630	▲13.5	610	▲13.6	270	▲16.9
個別	18,000	1.1	620	▲16.7	600	▲16.9	270	▲21.0

◆平成22年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金(予想) 20円00銭

企業と消費者の双方向の情報交換を実現する ダイレクトコミュニケーションの先進企業として

- 業務センターを中核とした生産体制の効率化と内製化促進
- 最新IT技術を駆使した各種機能の拡張と高度化によるトータルサービスの充実
- 新商品開発や提携戦略による業務領域の拡張と競争力の向上
- 汎用性を高めた情報処理および物流加工運営システムを展開しての周辺業務領域への進出
- 個人情報を中心とする機密情報管理の徹底

などを主要テーマとし、業界先進企業にふさわしい強固な収益基盤を構築してまいります。

DMS第二業務センターを開設。

『業務センター』（埼玉県さいたま市）との二拠点体制とし、さらなる受注量拡大と内製化を推進するため、平成20年11月、新たに『第二業務センター』を開設しました。

【第二業務センターの特徴】

(1)ペイエリアに立地

首都高速湾岸線、浦安ICから約5分。羽田空港、成田空港、大井埠頭、横浜埠頭など、あらゆる輸送モードに好アクセスでき、総合的な物流コスト低減が図れます。

(2)広いスペース

約2,000坪の広いスペースで、荷物の形状に制限されることなく様々な物流加工作業にフレキシブルに対応することができます。

(3)ロジスティクス

適正在庫を維持しピッキング・梱包作業を効率化するシステムと各種物流機器の活用により、スムーズかつスピーディなサービスをご提供できます。

(4)情報セキュリティ

不正なアクセスを防御し、個人情報やキャンペーン開始前の機密情報を含む物品の管理にもご安心いただけます。



名 称:株式会社ディーエムエス 第二業務センター
所 在 地:千葉県市川市塩浜三丁目17-17
延床面積:約6,800㎡(約2,000坪)

単元株式数の変更について

当社は、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えることで、当社普通株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図ることを目的として、平成21年4月1日より、1単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

自己株式の取得について

当社は、第50期において自己株式の取得を下記のとおり実施しましたので、お知らせいたします。

取得内容

- 取得した株式の種類 当社普通株式
- 取得した株式の総数 100,000株
- 株式の取得価額の総額 40,699,000円

なお、平成21年4月24日開催の取締役会において、下記のとおり自己株式の取得について決議いたしました。

決議内容

- 取得する株式の種類 当社普通株式
- 取得する株式の総数 100,000株（上限）
- 株式の取得価額の総額 45,000,000円（上限）
- 自己株式取得の日程 平成21年5月18日から平成21年9月30日まで

業績見通しにつきましては、その目標達成に向けて事業を展開してまいりますが、経済状況や市場動向の変化など様々な要因により変動する可能性があります。

【本件資料に関するお問い合わせ】

株式会社ディーエムエス
(経営企画室)
TEL:03-6859-2961(代)